

スポーツ秋田



題字：辻 兵吉 元県体協会長



全国高等学校総合体育大会レスリング男子個人 66kg級 優勝 米澤 凌 (秋田商業高3年)

〔写真提供：秋田魁新報社〕

contents

◎全国高等学校総合体育大会グラビア.....	2	◎チャレンジデー2017	14
◎新役員紹介.....	3	◎総合型スポーツクラブ活動紹介	15
◎事業計画・主要行事予定	4	◎注目のジュニアアスリート・日独スポ少交流	16
◎東北総体・全国高校総体等の結果	6	◎県内スポーツの主なできごと	17
◎東北総体入賞者インタビュー	8	◎ゴルフコンペの開催・経口補水液の寄贈 ・秋田ノーザンハピネッツからの寄付	18
◎国体結団式.....	10	◎オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金	19
◎医科学・ドーピング防止.....	11	◎賛助会員・寄付者	20
◎中学生強化選手.....	12	◎事務局だより	22
◎スポーツ能力測定会	13		

平成29年度 全国高等学校総合体育大会



フェンシング個人対抗
女子エペ優勝・成田琉夏
(左・聖霊高)

ボート女子ダブルスカル
優勝・本荘高 (佐藤・五十嵐)



フェンシング学校対抗
女子フルール優勝・聖霊高



陸上男子 5000 m競歩
7位・小武海泰士
(左・能代高)



レスリング男子個人 84kg級
2位・山田修太郎 (左・秋田商高)



陸上男子走り幅跳び
6位・土肥慧 (横手城南高)



ウエイトリフティング 105kg超級スナッチ
4位・淡路恭太 (金足農高)



弓道女子団体 4位・新屋高



新役員が選任されました

6月28日の定時評議員会において、新役員選任議案が審議され、役員等推薦委員会から推薦のあった理事候補者25名は、それぞれ賛成票が過半数に達し、全員選任されました。監事候補者3名についても、賛成票が過半数に達し、推薦のとおり選任されました。

また、定時評議員会終了後に開催された臨時理事会において、会長、副会長、専務理事を選任しました。新役員体制は次のとおりです。

会 長	小笠原直樹								
副 会 長	鶴田 有司・辻 良之・茂木 優								
専務理事	齊藤 讓								
理 事	阿部 芳久・伊藤 英幸・小野 直美・鎌田 耕平・菊地 隆・北嶋 高雄 佐々木 亨・佐々木もと子・鈴木 雄大・瀬下 和夫・田口 将・田中 良男 中島 誠・永沼 崇・成田 聡・藤田 登・松本 奈緒・三浦 正義 村上 聖子・吉田 光明								
監 事	片野 裕・下坂 義昭・高橋 真一								

もてぎ まさる
茂木 優 新副会長



平成29年度の定時評議員会終了後、第1回臨時理事会において、副会長に選任された。

大任を果たすことができるか、大きな不安を抱きながらも、全力で尽くすことを自らに誓いながら日々を過ごしている。

近年の国民体育大会の順位は30位台後半に低迷している。しかしながら、今年のスキー国体では本県初となる天皇杯・皇后杯の栄光に輝き幸先のよいスタートがきれた。

各競技団体は選手、役員が一丸となり、乾坤一擲の精神でスキー連盟に続くことを期待している。

本県の「スポーツ立県あきた」宣言決意には、「県民が一人ひとりの能力、関心に応じて、スポーツを『する』『みる』『ささえる』などそれぞれの形で幅広く参加することにより、元気で活力あふれる秋田をつくりまします」とうたいあげている。

この目標達成に向けて、秋田県体育協会は全力を傾注しなければならない。

「スポーツ王国秋田」を復活させるために、各競技団体、関係各位の一層のご協力をお願いいたします。

秋田大学男鹿なまはげ分校校長。モンテリオール五輪(レスリング)出場後は指導者として五輪メダリストを輩出。国体での自身の優勝は13回。平成9年から本会理事等を歴任。

さいとう ゆずる
齊藤 讓 新専務理事



平成29年度第1回臨時理事会で専務理事に選任された齊藤讓です。皆さんよろしくお願いいたします。

これまで秋田県職員として「スポーツを通じて全ての県民が幸福で豊かな生活を営む元気な秋田」を実現するため、業務に邁進してまいりました。

これからは秋田県体育協会の一員として、選手の皆さん、県民の皆さんに「やっぱり『スポーツ王国秋田』っていいな」「さすが『スポーツ立県あきた』だな」と実感して頂けるよう、全力投球してまいります。

スポーツには勝ちもあり、負けもあり、運不運もあり、その結果は様々ですが、勝てばうれしいのは誰でも一緒です。世界のひのき舞台から生まれて初めて参加する小さな競技会まで、参加された皆さんが、関係者の皆さんが「楽しかった」「これからも頑張るぞ」と思って頂けるよう、さらに取り組みを進めてまいります。

「スポーツ王国秋田」復活という大きな目標のため、皆さん一人一人のお力を秋田県体育協会にお寄せ下さい。よろしくお願いいたします。

県職員として、秋田ワールドゲームズ2001組織委員会、スポーツ振興課長、観光文化スポーツ部次長などを歴任し、スポーツ関連行政に精通。平成29年3月に秋田県議会事務局局長を定年退職。



平成29年度 県体育協会事業計画

【事業方針】

「スポーツ立県あきた」宣言を踏まえ、国民体育大会（以下「国体」）やオリンピック等の大舞台で活躍できる選手を育成・強化するため、競技力向上対策を実施するほか、スポーツ人口のすそ野の拡大やスポーツへの参加機会の促進等を目指し、加盟競技団体、加盟地域団体、加盟学校体育団体（以下「加盟団体」）並びに県等の関係機関と連携・協力し、各種事業を積極的に推進します。

特に、県人口の減少や少子高齢化が急激に進行している中、自らの力と技と心を鍛え、勝利を目指して頑張っている選手を支援するとともに、健康で生き生きとした人生に欠くことのできないスポーツを多くの県民が実施できるよう関係機関と一体となって取り組んでいきます。

1 県民体育大会の開催

第 68 回県民体育大会を、東北総合体育大会や国体の予選会として開催します。

2 競技力向上対策事業

「国体で天皇杯順位 20 位台」を目指すため、高校強化拠点校を中心とした少年種目の強化、社会人チームの強化対策、女子競技種目の選手強化、東北ブロックを勝ち抜くためのサポーター制を実施し、「チーム秋田」で国体に臨みます。

また、中学生指定選手の強化と中高一貫指導体制の整備を促進します。

(1) スポーツ医・科学の活用

- ① アンチ・ドーピング教育・啓発事業、アンチ・ドーピング講習会
- ② 選手、指導者等に対するスポーツ医・科学の情報提供

(2) 東北ブロック大会・国民体育大会への派遣

- 東北ブロック大会兼第 44 回東北総合体育大会（秋田県）[平成 29 年 8 月 18 日～ 20 日]
- 第 72 回国民体育大会本大会（愛媛県）[平成 29 年 9 月 30 日～ 10 月 10 日]
- 第 73 回国民体育大会冬季大会
 - [スケート競技 平成 30 年 1 月 28 日～ 2 月 1 日 (山梨県)]
 - [アイスホッケー競技 平成 30 年 1 月 28 日～ 2 月 1 日 (神奈川県)]
 - [スキー競技 平成 30 年 2 月 25 日～ 28 日 (新潟県)]

(3) 秋田県高等学校強化拠点校制度等による選手育成・強化

国体や全国規模の大会で活躍できるジュニア選手を育成・強化する。

- ① 秋田県高等学校強化拠点校への支援
- ② 中学生強化選手の指定・研修
 - 中学生強化選手競技力向上研修
(メディカルチェック、フィジカルトレーニング研修、宿泊研修等)
 - 中・高連携強化プロジェクト研修（選手・指導者）

(4) トップアスリートの支援

オリンピック・パラリンピックで活躍する選手を支援するほか、本県出身者等が県内に就職して安心して競技を続けられるように支援するなど、社会人スポーツ選手等の競技力向上を図ります。

- ① オリンピック・パラリンピック候補選手の支援
- ② アスリートの就職支援

3 スポーツの普及等に関する事業

(1) 普及啓発・広報事業

機関誌「スポーツ秋田」の発行や、ホームページによる情報発信

(2) スポーツ普及推進事業

加盟団体が実施するスポーツ事業への助成

(3) スポーツ表彰・顕彰事業

本県の体育・スポーツの振興に寄与し、その功績が顕著な者に対し、その栄誉を顕彰

(4) 人見スポーツ傷害基金事業

スポーツ選手の傷害防止の啓発



4 生涯スポーツの振興

広域スポーツセンター及び県総合型クラブ連絡協議会と連携し、総合型クラブの活動の充実と安定的な運営を支援します。

また、全市町村で開催される「チャレンジデー」に総合型クラブが主体的に参加するほか、障がい者も一緒に活動できるよう関係機関と連携します。

- (1) 総合型地域スポーツクラブ育成・自立支援事業
 - ① 総合型クラブの育成支援 ② 秋田県総合型クラブ連絡協議会事業
- (2) スポーツ指導者養成事業
 - ① スポーツ指導者養成講習会 ② スポーツ指導者研修会
- (3) スポーツ少年団交流大会
 - ① 競技別交流大会 ② 全県交流大会 ③ リーダー養成事業 ④ 日独同時交流事業
 - ⑤ スポーツ少年団モデル育成事業
- (4) スポーツ少年団指導者育成事業
 - ① 認定員養成講習会 ② 認定員再研修会 ③ 育成母集団研修会
 - ④ スポーツ少年団顕彰事業 ⑤ スポーツ少年団広報普及事業

5 組織の運営・財政の確立

- (1) 組織の運営

事務局業務を効率的に執行するとともに、課や担当の分担にとらわれず、相互協力体制で運営するほか、各専門委員会では学識経験者などの専門家の意見を広く取り入れ、事業の充実を図ります。
- (2) 財政の確率

安定した財政基盤による事業推進に向けて、関係機関・企業等に対し、本会の事業の重要性について理解を得る働きかけを行い寄付を募るほか、賛助会員制度や収益事業による自主財源の確保と、効率的な事業執行や経費の節減に努めます。

●平成 29 年度 県体育協会 今後の主要行事予定

行 事	実 施 予 定 日	場 所
第 72 回国民体育大会本大会	H29.9.30 (土)～ 10.10 (火)	愛媛県
第 73 回国民体育大会冬季大会 ●スケート・アイスホッケー競技会	H30.1.28 (日)～ 2.1 (木)	(スケート) 山梨県 (アイスホッケー) 神奈川県
第 73 回国民体育大会冬季大会 ●スキー競技会	H30.2.25 (日)～ 28 (火)	新潟県
第 3 回定例理事会	H30.3.14 (火)	スポーツ科学センター
臨時評議員会	H30.3.29 (木)	未定

●県スポーツ少年団の今後の主な行事予定

行 事	実 施 予 定 日	場 所
第 40 回秋田県スポーツ少年団大会 ●卓球 ●ミニバスケット ●スキー	H29.12 月上旬～ H30. 2 月下旬	県立体育館ほか
認定員養成講習会 (後期)	H29.10.28 (土)・29 (日) H29.11.11 (土)・12 (日) H29.11.18 (土)・19 (日) H29.11.25 (土)～ 26 (日)	秋田市 大仙市 能代市 秋田市
東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 ●柔道 ●ミニバスケット	H29.12.2 (土)・3 (日) H30.3.10 (土)・11 (日)	盛岡市 秋田市
全国競技別交流大会 ●サッカー ●バレーボール (男子) ●バレーボール (女子) ●剣道	H29.12 月下旬 H30.3.25 (日)～ 27 (火) H30.3.25 (日)～ 28 (水) H30.3.25 (日)～ 27 (火)	鹿児島県 群馬県 群馬県 東京都



平成29年度 第44回東北総合体育大会 成績一覧

主会期：8月18日(金)～20日(日) 会場：秋田県・岩手県・福島県

競技名	種別・種目	枠	成績	通過	
アイスホッケー	成年男子	4	12月開催		
	少年男子	2	12月開催		
水泳	少年男子 水球	2	1位	×	
	少年女子 シンクロ	2	1位	—	
サッカー	成年男子	1	5位	×	
	女子	1	3位	×	
ボート	成年男子	舵手つきフォア	2	1位	◎
		ダブルスカル	5	4位	S
		シングルスカル	2	2位	◎
	成年女子	舵手つきフォドルブル	1	2位	×
		ダブルスカル	2	3位	×
		シングルスカル	2	3位	×
	少年男子	舵手つきフォドルブル	3	3位	◎
		ダブルスカル	3	6位	×
		シングルスカル	2	2位	◎
	少年女子	舵手つきフォドルブル	3	2位	◎
		ダブルスカル	3	1位	◎
		シングルスカル	3	3位	◎
フェンシング	成年男子	5	4位	S	
	成年女子	2	1位	◎	
	少年男子	3	1位	◎	
バドミントン	成年男子	2	3位	×	
	成年女子	4	1位	◎	
	少年男子	5	5位	S	
カヌー	成年男子	レーシングK-1	3	1位	×
		レーシングC-1	3	2位	◎
		スラロームK-1	3	1位	◎
		スラロームC-1	1	1位	◎
	成年女子	ワイルドK-1	1	1位	◎
		レーシングK-1	2	1位	◎
		レーシングC-1	1	1位	×
		スラロームK-1	2	2位	◎
	少年男子	スラロームC-1	1	1位	◎
		ワイルドK-1	1	1位	×
		レーシングK-1	3	2位	◎
		レーシングC-1	3	5位	×
	少年女子	レーシングK-2	1	2位	×
		レーシングC-2	1	1位	×
		レーシングK-4	1	1位	×
		レーシングK-1	3	1位	×
	ボウリング	成年男子	3	6位	×
		成年女子	3	4位	×
少年男子		3	6位	×	
少年女子		3	6位	×	
成年男子		5	1位	S	
ゴルフ	女子	5	1位	S	
	少年男子	3	6位	×	
陸上競技	男子	5	6位	S	
	女子	5	5位	S	
テニス	成年男子	3	6位	×	
	成年女子	3	3位	◎	
	少年男子	5	1位	S	
	少年女子	5	1位	S	
ホッケー	成年男子	1	3位	×	
	成年女子	1	5位	×	
	少年男子	1	3位	×	
ボクシング	少年女子	1	1位	—	
	成年男子	3	6位	×	
バレーボール	成年男子	3	6位	×	
	成年女子	2	1位	—	
	少年男子	2	2位	◎	
ビーチバレーボール	成年男子	2	5位	×	
	少年男子	3	1位	◎	
	少年女子	3	2位	◎	
体操	成年男子	2	雨天中止	×	
	成年女子	2	雨天中止	×	
	少年男子	1	2位	×	
	少年女子	1	1位	—	
	少年女子	3	3位	◎	

バスケットボール	成年男子	2	1位	◎	
	成年女子	5	1位	S	
	少年男子	2	3位	×	
レスリング	少年女子	2	2位	◎	
	成年男子	5	1位	S	
ウエイトリフティング	少年男子	5	1位	S	
	成年男子	5	3位	S	
	少年女子	5	3位	S	
ハンドボール	女子	※	1位	×	
	成年男子	2	5位	×	
	成年女子	2	5位	×	
	少年男子	2	3位	×	
自転車	少年女子	2	5位	×	
	成年男子	5	5位	S	
ソフトテニス	少年男子	5	6位	S	
	少年女子	5	6位	S	
	成年男子	3	6位	×	
	成年女子	2	5位	×	
卓球	少年男子	5	6位	S	
	成年男子	2	6位	×	
	成年女子	4	1位	◎	
軟式野球	少年男子	5	6位	S	
	成年男子	2	3位	×	
相撲	成年男子	4	5位	×	
	少年男子	5	3位	S	
馬術	成年男子	/	6位	◎	
	成年女子			×	
柔道	少年男子	/	◎	◎	
	成年男子			2	2位
	少年女子	5	3位	S	
	成年女子	44回大会から「女子」	2	3位	×
ソフトボール	少年女子	/	◎	×	
	成年男子			1	3位
	成年女子	1	3位	×	
	少年男子	2	5位	×	
弓道	少年女子	2	5位	×	
	成年男子	3	1位	◎	
	成年女子	3	4位	×	
	少年男子	2	6位	×	
ライフル射撃	少年女子	2	1位	◎	
	成年男子	S	5位	◎	
	成年女子			◎	
	少年男子			◎	
少年女子	◎				
剣道	成年男子	5	2位	S	
	成年女子	2	3位	×	
	少年男子	2	3位	×	
	少年女子	2	1位	◎	
ラグビーフットボール	成年男子	2	1位	◎	
	少年男子	2	1位	◎	
山岳	女子	1	1位	◎	
	成年男子	5	6位	S	
	成年女子	2	3位	×	
	少年男子	3	5位	×	
アーチェリー	少年女子	2	4位	×	
	成年男子	3	6位	×	
	成年女子	3	5位	×	
	少年男子	2	6位	×	
空手道	少年女子	2	6位	×	
	成年男子	組手	5	3位	S
		形	2	5位	×
	成年女子	組手	5	1位	S
		形	2	5位	×
	少年男子	組手	5	5位	S
形		2	3位	×	
少年女子	組手	5	3位	S	
	形	2	2位	◎	
銃剣道	成年男子	5	5位	S	
	少年男子	2	2位	◎	
クレ射撃	成年	トラップ	5	1位	S
	スキート	4	1位	◎	
なぎなた	成年女子	演技	5	5位	S
	試合	5	3位	S	
	少年女子	演技	5	4位	S
	試合	4	4位	◎	

S…ストレート出場、◎…通過、×…不通過、—…不出場

◇東北総体未実施競技 【水泳(競泳・飛込・オープンウォーター)】【セーリング】【トライアスロン】【レスリング女子】【冬季大会(スキー・スケート)】



平成29年度 全国高等学校総合体育大会成績

主会期：7月28日(金)～8月20日(日) 会場：山形県・福島県・宮城県

順位	競技名(種目名)	選手・学校
優勝	レスリング 66kg級	米澤 凌 (秋田商③)
	フェンシング個人対抗女子エペ	成田 琉夏 (聖霊②)
	フェンシング学校対抗女子フルーレ	聖 霊 佐藤 佳菜③ 田口 莉帆② 成田 琉夏② 土佐 千乃① 安部 聖美①
	ボート女子ダブルスカル	佐藤理奈穂 (本荘③) 五十嵐のどか (本荘③)
2位	レスリング 84kg級	山田修太郎 (秋田商③)
3位	レスリング	秋田商業 山谷 洸芽③ 佐藤 旭③ 米澤 凌③ 鈴木 勇斗③ 山田修太郎③ 安田 拓斗③ 工藤 平良③ 大竹 壘③ 島谷 侃② 吉田 大夢② 八柳 星那①
	フェンシング個人対抗男子フルーレ	松淵 真平 (秋田北鷹③)
	フェンシング個人対抗女子フルーレ	土佐 千乃 (聖霊①)
	フェンシング学校対抗男子フルーレ	秋田北鷹 松淵 真平③ 伊藤 公③ 藤井 凌大③ 成田 航也② 宮崎 泰我②
4位	フェンシング個人対抗女子サーブル	田崎 愛 (秋田北鷹③)
	弓道女子団体	新 屋 佐藤麻衣子② 遠藤さくら② 奥山 愛梨② 金 夕季菜② 佐藤菜々子② 佐藤 海帆②
	ウエイトリフティング 105kg超級スナッチ	淡路 恭太 (金足農③)
6位	陸上競技男子走幅跳	土肥 慧 (横手城南②)
	陸上競技女子 400 mH	関本 萌香 (大館鳳鳴③)
	ウエイトリフティング 105kg超級トータル	淡路 恭太 (金足農③)
7位	弓道	太田 弘人 (新屋③)
	陸上競技男子 5000 m競歩	小武海泰士 (能代③)
	フェンシング個人対抗女子フルーレ	田口 莉帆 (聖霊②)
	ウエイトリフティング 53kg級ジャーク	戸嶋 響愛 (金足農③)
	フェンシング個人対抗男子エペ	佐藤 武揚 (秋田北鷹②)
8位	フェンシング個人対抗男子サーブル	成田 航也 (秋田北鷹②)
	ウエイトリフティング 53kg級スナッチ	戸嶋 響愛 (金足農③)
	弓道男子団体	大館桂桜 高清水凱也③ 木村 樹③ 笹島 圭斗③ 柴田 竜一③ 渡部 裕貴③ 齊藤 勝己②
	ウエイトリフティング 105kg級ジャーク	鎌田 拓也 (金足農③)
	カヌースプリント男子カヤックペア 500 m	佐々木 絵 (本荘①) 阿部 智礼 (本荘①)
	カヌースプリント男子カヤックシングル 200 m	松川 瑛 (本荘①)

平成29年度 全国中学校体育大会 秋田県選手上位成績一覧

主会期：8月 会場：全国各地

順位	競技名(種目名)	選手・学校
2位	柔道男子個人 50kg級	伊藤 大輔③ (御野場)
2位	柔道男子個人 90kg超級	菅原 光輝③ (天王)
5位(ベスト8)	柔道女子個人 70kg超級	大場 万弥③ (本荘東)
5位(ベスト8)	剣道女子団体	勝平中学校
5位(ベスト8)	相撲男子団体	大館東中学校



平成29年度国民体育大会東北ブロック大会 兼

第44回東北総合体育大会

カヌー競技

松川 ^{あきら} 瑛 選手

(本荘高・1年)

種別 少年男子

種目 カヤックシングル K-1
(500m)

成績 第2位

[岩手県立御所湖広域公園漕艇場]

国体に向けて

「絶対に愛媛国体に出場する!」という決意を胸に、7月14日～15日に岩手県の御所湖で開催された東北総体に出場し、少年男子カヤックシングル2位という成績で国体への



松川瑛選手

出場枠を勝ち取ることが出来ました。しかしながら、東北総体のレース内容は、決して満足のできるものではありませんでした。得意のスタートで前に出たものの、中盤で他県の選手に抜かれてしまい、2位という悔しい結果になりました。東北総体後は、インターハイや国体に向けて、より一層筋力と持久力の強化を課題にして練習に取り組みました。さらに、乗艇フォームを丁寧に見直し、弱点の改善を図ってきました。その成果を国体で発揮できるよう頑張ります。

私がカヌー競技を続けられているのは、厳しいながらも私の体調を常に気遣ってくれるコーチのご指導と、切磋琢磨しながら練習を共にしているカヌークラブの仲間たち、学校の先生方のご協力や、友人たちの応援、そしていつも支えてくれている家族のおかげです。多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、これまでの練習の成果を十分発揮し、国体では決勝に進出し、上位入賞することを目指して頑張ります。



ダブルブレード・パドルで一斉スタート

柔道競技

高橋 ^{りょう} 諒 選手

(東海大)

種別 成年男子

種目 団体

成績 第2位

[能代市総合体育館]

東北総体の感想と愛媛国体に向けて

8月19日～20日に行われた東北総体柔道競技で成年男子の代表として出場させて頂きました。2年前は少年男子として東北総体に出たので今回で2度目の参加でした。ただ成年として出るのは初めてなのでとても新鮮に感じました。

今年から成年男子は上位2位までしか本国体に出られないということだったので、とても厳しい戦いになるだろうと思っていました。結果は4勝1敗で2位となり、愛媛国体への出場権を獲得することができました。一人ひとりが役割を果たせたのが勝因だと思います。ですが、個人的な部分ではかなり納得いかない結果に終わってしまい課題がたくさん残ったので大学でまた一から頑張っていきたいです。

愛媛国体では各地方で勝ち上がった上位チームとやるのがかなり楽しみです。勝つことだけに徹して本国体に向けて残り少ない日数ですがしっかりと仕上げたいです。

成年男子メンバー

- 丹 智広 (秋田大)
- 高橋 諒 (東海大)
- 三戸 雄生 (筑波大学院)
- 石井 直人 (秋田高専教)
- 柿崎 比呂 (秋田大)



開会式での秋田県選手団

卓球競技

後藤奈津美 選手

(東京富士大・職員)

種別 成年女子

種目 団体

成績 優勝

[鹿角トレーニングセンターアルパス]

東北総体の振り返りと今後の抱負

今大会は結果として成年女子は全勝優勝をすることができました。このような成績を収めることができたのは秋田県体育協会の皆様、秋田県卓球協会の皆様、関係各位の皆様これまで多くのご支援、ご協力のお陰だと感じています。また、秋田県開催であったことも地元秋田で優勝することが出来たのは本当に嬉しいです。総合成績は6位と残念な結果だったので来年以降は総合でも上位入賞、優勝を目指し一致団結して頑張りたいと思います。



後藤奈津美選手

愛媛国体には成年女子、少年男子が出場します。東北代表、秋田県代表として結果を残せるよう、見ていて下さる方々に感謝して頂けるような試合が出来るよう精一杯頑張ります。応援宜しくお願い致します。

成年女子メンバー

- 後藤奈津美 (東京富士大職)
- 浅利 美佳 (東京富士大)
- 加藤 夏海 (早大)
- 菊地実佳子 (東京富士大)



伊多波健監督とともに



今年は秋田県内を主会場に開催。8月18日から3日間を主会期として、36競技で熱戦が繰り広げられました。(アイスホッケーは12月に実施) レスリングでは、成年少年合わせて8階級で優勝。新体操では、団体と個人4種目を完全制覇。バスケットボールでは、成年男女が優勝するなど、大活躍の本県選手団でした。

体操競技 (新体操)

成田 望愛 選手

(御所野学院高・2年)

種別 少年女子
種目 団体総合
成績 優勝

[CNA アリーナ★あきた]

情熱の舞いでいざ勝負

たくさんの応援を受け、8月19日・20日に行われた東北総体で私たち秋田県選抜チームは、個人競技の4種目全てと団体競技で1位となり、完全優勝を果たすことができました。



成田望愛選手

7月にチームが結成されたときは、昨年よりスタートが半年も遅く、東北総体までに息の合った確実な演技ができるかどうか初めはキャプテンとして思い悩みました。しかし、ジュニアの頃から一緒に練習し戦ってきた気心の知れた仲間なので、それを味方に互いに自分の気持ちを伝えあって前に進みました。

時には、先生方の厳しい指導や辛い練習に心が折れそうになる事もありますが、そんな時こそ7人で自分の気持ちを伝え、指摘しあい、雰囲気盛り上げて励ましあいながら練習をしています。

国体に向け上位入賞を目標とし、練習に励んでいます。チームで勝ち取った国体出場の切符で心をひとつに、笑顔で戦ってきます。これまで応援して下さった方々への感謝の気持ちを胸に、恩返し思いで情熱のある演技をしてきます。

少年女子メンバー

- 成田 望愛 (御所野学院高)
- 二木 妃菜 (和洋高)
- 佐々木南美 (御所野学院高)
- 金子 美樹 (秋田北高)
- 大仲 七海 (御所野学院高)



秋田選抜チームの団体演技

銃剣道

木内 健斗 選手

(由利工高・3年)

種別 少年男子
種目 団体
成績 第2位

[由利本荘市総合体育館]

7年ぶりの国体出場！

私は、秋田県で行われた第44回東北総合体育大会で、団体に2位になりました。

今回で3回目の東北総体で、初めて国体出場の権利を得ることができました。私自身、小学校から約10年間やっていて、今年は高校3年生で学生として、最後のチャンスだと思っていました。私たちは、部活動が無いので連盟の強化練習で週2回の3時間しか練習できませんでした。遠征で毎月1回、福島や宮城で合同練習がありました。夏休みになると練習量が増え2日に1回強化練習を行い東北大会に臨みました。

チームは先鋒が私で、中堅に小西英悟、大将に原田勝磨です。このメンバー以外にもあと2人チームメイトがいます。私以外の4人は、今年に始めたばかりで最初に出場した大会は、宮城で行われた高校生大会でした。残念なことに私は2回戦敗退で、4人は初戦敗退でした。でも、そのときは緊張のため力を発揮することができませんでしたが、東北大会では勝てるという自信がありました。そこから練習を積み重ね東北総体で勝てたことは、とてもうれしいです。愛媛国体では入賞めざし頑張りたいと思います。

少年男子メンバー

- 木内 健斗 (由利工業高)
- 小西 英悟 (秋田高専)
- 原田 勝磨 (矢島高)



技を繰り出す秋田県選手

ラグビーフットボール

夏井 花彩 選手

(秋田銀行)

(秋田NBプレアデス)

種別 女子
種目 7人制
成績 優勝

[スペースプロジェクト・ドリームフィールド]

GO CHALLENGE

私たち秋田NBプレアデスは今シーズンの目標を「CHALLENGE」と掲げ、日々の練習に真摯に取り組んできました。そして8月19・20日に行われた東北総体にて優勝し、10月に行われる愛媛国体へ出場を決めることができましたが、ここまでの道のりは決して簡単ではありませんでした。



夏井花彩選手

女子ラグビーが国体競技となったのは昨年の岩手国体からです。私たちは東北総体を無失点で勝ち抜き優勝、国体出場を決めました。大きな舞台で戦えることを嬉しく思い、国体に臨みましたが、現実には甘くはありませんでした。他県とのレベルの差を感じ、自分たちのプレー、目標としていた「1勝」もできず大差で敗れてしまいました。

私たちは必ず来年もこの舞台に戻ってくる決意しました。それから私たちは「CHALLENGE」という目標を掲げ何事にも臆することなく、練習・試合全てに全力で挑戦し続けてきました。

悔しい思いをした日から1年、昨年果たせなかった「1勝」を目標に、愛媛国体ではスペースを広く使う自分たちのプレーを貫きます。そして練習の成果を発揮し、果敢に挑戦していきたいです。



4戦全勝で連覇



第72回国民体育大会秋田県選手団結団式

平成29年9月4日(月)秋田県立体育館において、第72回国民体育大会秋田県選手団結団式を挙行了。今年は、29競技の選手・監督401名と本部役員の合計440名が、愛顔(えがお)つなぐえひめ国体に参加します。

○オープニング

結団式に先立ち秋田県警察音楽隊の演奏と秋田県立男鹿海洋高等学校郷土芸能部による、なまはげ太鼓の演奏により秋田県選手団を激励した。



秋田県警察音楽隊

男鹿海洋高校郷土芸能部

○あいさつ

結団式では秋田県選手団小笠原直樹団長が「昨年の岩手国体の総合成績は前年より1つ順位を上げて37位だった。愛媛国体では得点、順位とも更に上位を目指したい。そして、県民の皆様によく頑張ったと誇りに思ってもらえるよう、選手、監督、コーチ、役員の皆様方とともに心を合わせ団結し、そして、対戦にあたっては恐れず、怯まず、悔ることなく、チャレンジ精神を持って試合に臨んで欲しい」と挨拶した。



小笠原直樹団長

○激励のことは

来賓を代表して、秋田県堀井啓一副知事、秋田県議会鶴田有司議長、秋田県教育庁佐藤雅彦教育次長から激励の言葉を戴いた。

堀井副知事から「今年は長野の銀嶺国体で天皇杯、皇后杯ともに優勝という素晴らしい成果を発揮してくれた。この流れに乗り、愛媛国体でも皆さんの力を十二分に発揮し、素晴らしい成績を残してもらいたい」と激励があった。



堀井副知事



鶴田議長

鶴田議長から「これまで懸命に練習してきた成果を信じ、この最終の舞台で持てる力を存分に出し切り、最高のパフォーマンスを発揮されるよう心から期待している。皆さんには小笠原団長を中心に、より一層結束力を強め、大会では秋田県代表としての自信とふるさとの誇りを胸に素晴らしい成績を上げて欲しい」と激励があった。

○激励費・団旗の授与

激励費を秋田県、秋田県議会、秋田県教育委員会、秋田県体育協会から選手団を代表してラグビーフットボール競技成年男子の齊藤郁哉選手(秋田ノーザンブレッツ)に授与された。

また、団旗を小笠原団長より、総合開会式で旗手を務める自転車競技少年男子の高橋翼選手(大曲農業高校3年)に授与された。



佐藤教育次長

選手宣誓

○選手宣誓～歓送

選手団を代表してボート競技少年女子の佐藤理奈穂選手、五十嵐のどか選手(共に本荘高校3年)が「愛媛のみかんのようにフレッシュに全国の同士と競技ができる喜びを感じ、支えてくれるすべての人々への感謝の気持ちを忘れず、常に笑顔で全力で競技を楽しみ最後まで勝ちにこだわり戦い抜く」と力強く宣言した。

モチベーションビデオを放映後、国民体育大会・大会歌「若い力」を斉唱し、選手団は秋田県警察音楽隊の演奏、男鹿海洋高等学校郷土芸能部「なまはげ」に見送られ退場した。

● 国体ユニフォーム ●

現在の国体ユニフォームは、秋田わか杉国体時に更新され10年を迎え、第73回国民体育大会冬季国体・本国体時に新しいユニフォームになります。



アンチ・ドーピング講習会を開催しました

平成 29 年 9 月 4 日（月）秋田県立体育館にて、愛媛国体に参加する監督・選手を対象としたアンチ・ドーピング講習会を開催しました。日体協公認スポーツファーマシストの鳥海良寛氏からは「国体では参加選手全員がドーピング検査対象となっている。普段から使用している薬剤やサプリメントに禁止物質が入っていないことを必ず確認して服用するように」と注意喚起があり、監督・選手は、真剣な眼差しで説明に聞き入っていました。



（アンチ・ドーピング講習会の様子）

選手生命を奪うドーピング

— 鳥海良寛氏 —

ドーピングは、国外の問題ではない。国内でも毎年数名のドーピング陽性の選手が処分されている事実を知っておくべきだ。

日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のホームページには「情報公開」のページがあり、ここには「アンチ・ドーピング規律パネル決定報告」がご覧になっていて、閲覧することが出来る。その内容は、裁判記録のように禁止薬物を使用した意図と経緯が詳細に記述されている。そして、資格停止期間が経過するまで選手の氏名が公表され、犯罪者のように取り扱われていることに驚く。これらのドーピング陽性事例は各種競技会におけるものだった。

国民体育大会では、2003 年第 58 回「NEW!! わかふじ国体（静岡県）」からドーピング検査が導入され、毎回、競技会時及び競技外（トレーニング中や合宿所等）において、約 250 検体が検査されている。昨年（2016 年）に開催された第 71 回「希望郷いわて国体（岩手県）」で、初のドーピング陽性者が出た。日本アンチ・ドーピング規律パネル決定書によれば、自転車競技で優勝した福井県の選手が 14 種類のサプリメントを摂取し、その内の 2 製品から蛋白同化男性ステロイドが検出された。

当該選手及び福井県体育協会は、このサプリメントには禁止物質の標記がなく、禁止物質の摂取が意図的ではないことから、日本スポーツ仲裁機構に提訴し、その結果「うっかりドーピング」であると判断されて、資格停止 4 年が 4 ヶ月に短縮された。だが、選手の優勝、記録及び国体の点数は取り消された。それ以上に心配されるのは、選手に課せられた汚名は、資格停止期間が終了しても消えることがないことだ。

この選手は、6 回のドーピング防止教育を受けている。それでもドーピングを防ぐことが出来なかった。右に掲げた事項に注意し、国体でドーピング陽性とならないよう心して、優勝を目指してほしい。



鳥海 良寛（とりうみ よしひろ）氏

- ㈲とりうみファーマシー
代表取締役
- 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
公認スポーツファーマシスト
- 公益財団法人秋田県体育協会
スポーツ医・科学委員



うっかりドーピングを防ぐために！

- スポーツ選手であることの自覚を育てましょう。
- 公平・公正なスポーツマンシップを育てましょう。
- 病気は隠さないで、申告しましょう。
- 医薬品を購入するときには、薬剤師に選手であることを伝えましょう。
- 受診したときには、医師に選手であることを伝えましょう。
- 漢方薬は使わない。サプリメントは注意して！
- 救護所の医薬品は使わないで！
- お薬手帳を活用して、使用している医薬品が分かるようにしましょう。
- 一般用医薬品、サプリメントの箱と説明書は取っておきましょう。



秋田県中学生強化選手指定証交付式



6月24日（土）秋田市文化会館において、第12期秋田県中学生強化選手指定証交付式を挙行了しました。

この中学生強化選手制度は、将来全国規模の大会で上位入賞できるよう、選手強化及び競技力向上を図ることを目的として、平成23年度にスタートしました。

秋田県、秋田県教育委員会及び秋田県体育協会が三者連名で指定する「中学生強化選手」は、各競技団体が主催する高校生との合同練習や合宿、県体育協会が主催する競技力向上研修、パフォーマンステスト、トレーニング研修等に参加できるほか、医科学に関するサポートを受けることができます。

今回は、スキー（アルペン、クロスカントリー）、陸上競技、サッカー、バスケットボール、レスリング、フェンシング、卓球、柔道、バドミントン、ライフル射撃、剣道の11競技55名が、新たに強化選手に指定され、これまで、27競技、延べ757名が、強化選手に指定されました。

指定証が交付され、堀井副知事からの激励の言葉をいただいた後、近藤京選手（バスケットボール競技・山本中学校2年）が、「指定を受けたことは大変名誉なことだと実感し、日本を代表する選手になれるよう練習に全力で取り組み、応援してくれる人たちに対する感謝の気持ちを忘れずに努力していきたい」と、力強く決意表明をしました。



激励する堀井副知事



決意表明する近藤京選手

秋田県中学生強化選手競技力向上研修

平成29年8月26日（土）・27日（日）の2日間にわたり、秋田市太平山自然学習センター「まんたらめ」において、中学生強化選手の資質の向上を目指した合宿研修を行い、74名が参加しました。

研修では、インタビューに対応できるようにするための「メディアトレーニング」や、試合で最高のパフォーマンスを発揮するための「メンタルトレーニング」、世界を相手に活躍している選手による「アスリート講話」などを実施しました。

アスリート講話では、秋田工業高校出身の小林快選手（今年8月の世界陸上競技選手権大会男子50キロ競歩3位）から、中学生強化選手に向けて「夢をもって目標達成できるように頑張ってください」と激励の言葉をいただきました。



開講式の様子



自分たちで野外炊飯！



講話する小林快選手



スポーツ能力測定会

秋田県タレント発掘合同トライアル～ConversionProject～

Get the chance !!

競技の選択

最適競技の発見

能力の適性判断

競技経験の有無に関わらず、パワーやスピード等の秀でた能力を持った人材を発掘するため、競技団体と協同し、中学3年生を対象としたトライアル(適性を判断するための測定会)を平成29年9月16日(土)秋田市の秋田テルサにて実施した。

県内から男子41名、女子26名の計67名が参加し、最新の測定機器を用いて様々な能力測定を行い、測定後には保護者同伴のもと、専門家による分析や強化に関するフィードバックを行った。さらに、当日は競技団体による体験ブースを設け、実際に競技やその道具を手に取り体験し、初めて目にする競技などにも生徒・保護者は興味津々であった。

なお、今回参加して引き続き体験してみたい生徒やさらに詳しく話を聞きたい生徒には、競技団体が後日対応しその機会を用意する。

1st 募集

公募(自薦・他薦)

2nd テスト&マッチングⅠ

スポーツ能力測定

+

競技体験&説明会

3rd マッチングⅡ

競技団体等が主催する競技体験会及び説明会

転向なし

“コンバート”
競技の転向

現在の
競技の継続

世界には発掘から2～3年で国際レベルのメダルアスリートに成長した事例が少なくない。例えば、全国中学校体育大会(全中)やインターハイ、甲子園等の大会終了を機に引退する選手、ベンチや応援に回った選手の中にも、埋もれるダイヤの原石はぎっしり!!

《テストの内容》

1 具体的な測定内容

- 10m スプリント
光化学ストライド分析システムにより、一歩毎のスピードやストライドを調べることによって、より詳細に個々の走る能力の「特徴」を分析する。
- 俊敏性測定
加速度測定センサーを用いて、多くのスポーツで求められる方向転換能力を測定し、直線とのタイム比較から俊敏性を評価する。
- ジャンプ力、バネ力
三軸加速度計を活用した機器を用いて、競技によっては最重要能力といえる「高く跳ぶジャンプ力」と「素早く跳ねるバネ力」の2種類のジャンプテストを行い、高く遠く跳ぶためのジャンプの質を測る。
- 反応ジャンプ測定
光学センサーにより、目から得た情報に対して、ジャンプやスプリント等素早くリアクションするまでのタイムを測定、評価する。

2 分析、フィードバック

- 長所と短所を明確にし、自分に合ったトレーニング法などのアドバイスを行う
- 69のスポーツ種目からスタッフが適性を見極める。



10mスプリント測定



敏捷性測定



反応ステップ測定



フィードバック測定



スペシャルゲストの前園氏挨拶



自転車競技体験ブース



相撲競技体験ブース

《参加者へのアンケート》

- Q1. 住所：性別：在籍部活動 Q2. 参加した理由
Q3. イベントの満足度 Q4. 満足度の理由

- Q1. にかほ市：女子：ソフトテニス
Q2. 高校での部活動選びの参考にしたいから
Q3. とても満足した
Q4. 自分の能力を知ることができた

- Q1. 秋田市：男子：バスケットボール
Q2. ・自分の強み弱みを知りたかった
・ゲスト(前園氏)の話しを聞いてみたかった
・高校での部活選びの参考にしたいから
Q3. とても満足した
Q4. 自分の足りてない部分があったし、向いているものについても知ることができたから満足。

- Q1. 由利本荘市：男子：科学部
Q2. 向いているスポーツがあれば挑戦したい
Q3. とても満足した
Q4. 機械で正確に測ってもらえたから

- Q1. 大仙市：男子：陸上競技
Q2. 自分の強み弱みを知りたかった
Q3. とても満足した
Q4. 楽しかった。この結果を活かして、高校でもスポーツを楽しんでいきたいです。



「チャレンジデー 2017 あきた」

～ 3年連続で県内全自治体が参加（全国唯一）し、参加自治体数も全国最多～

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている住民総参加型スポーツイベントで、人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分間以上継続して何らかの運動やスポーツをした住民の「参加率（%）」を競い合う。年齢や性別を問わず誰もが気軽に参加でき、「住民の健康づくり」や「スポーツ振興」、「地域の活性化」のきっかけづくりに最適なスポーツイベントである。

今年は全国で128の自治体（63市1区51町13村）が参加し、参加者数は3,391,469人（昨年は2,923,999人）で、参加率は57.7%（昨年は54.3%）であった。

本県では3年連続で全自治体（25市町村）が参加し、参加者数は627,205人（昨年は566,604人）で、参加率は61.0%（昨年は54.4%）であった。全自治体の参加は全国唯一であり、参加自治体数も全国で最多となる。

本番前日となる5月30日（火）に、秋田市の県市町村会館で「チャレンジデー 2017 あきた決起集会」が行われ、佐竹知事や、県内市町村長、主催する笹川スポーツ財団の

渡邊専務理事（現理事長）、小笠原県体協会長、チャレンジデー大使を務める元ラグビー日本代表の伊藤護さん（男鹿市出身）ら約30人が集った。佐竹知事が「健康寿命日本一を目指す本県にとって、チャレンジデーは重要なイベント。県民一体で昨年以上の成績を目指そう」と挨拶し、最後に参加者全員で「頑張ろう」と拳を突き上げて健闘を誓った。

当日の5月31日（水）は、各自治体が創意工夫を重ね、体操やウォーキング、ごみ拾いや空き缶積み上げ、プロスポーツ選手から直接指導を受けられる体験教室など、様々なイベントが行われ、子供からお年寄りまで幅広い世代が各会場に集い運動やスポーツを満喫した。

また、チャレンジデー大使として伊藤さんのほか、茂木優さん（元五輪レスリング代表）、利部陽子さん（元五輪バレーボール代表）、石垣寿美子さん（スキー距離選手）ら県内出身のトップアスリートが県内各地を訪問し、県民とのふれあいを楽しみながらチャレンジデーを大いに盛り上げた。



決起集会



みんなでラジオ体操（秋田市）



グラウンドゴルフ大会（五城目町）

◎県内結果

勝敗：19勝9敗（八峰町1勝1敗、大仙市と秋田市2敗）

メダル数：金21個、銀4個（※メダルは人口に対して授与基準（%）が設定されている）

◎アワード受賞自治体（秋田県関係分）

- ・「参加率アップ賞」…2016年度と比較して最も参加率の上がった自治体に贈られる賞
大仙市 上昇数 28.3ポイントアップ（2016年55.7% → 2017年84.0%）
- ・「カテゴリー別優秀賞」…各カテゴリーで最も参加率が高かった自治体に贈られる賞
鹿角市 カテゴリー4（人口30,000～69,999人）参加率 71.2%
横手市 カテゴリー5（人口70,000～249,999人）参加率 103.6%
- ・「チラシ大賞」…オリジナリティにあふれ、広報ツールとして優れたチラシを作製した自治体に贈られる賞
秋田市



渡邊SSF理事長（左）と老松大仙市長



児玉鹿角市長（左）と渡邊SSF理事長



高橋横手市長



◎クローズアップ

由利本荘市は、2013年（平成25年）からチャレンジデーに参加し、今年の参加が5回目となる。チャレンジデーに参加することで、地域の一体感を醸成し、スポーツを習慣づけ日常化することで「笑顔あふれる地域づくり」を目指している。右の写真は、同市の6月本会議初日の様子で、市長をはじめ議員、職員全員がチャレンジデーのTシャツを着用し、市全体でチャレンジデーに取り組んでいる。



由利本荘市6月本会議

参加率は、初参加の2013年が58.3%で、2014年が69.4%、その後3年間は常に80%を超える参加率となっている。そこで、今回は安定した参加率を誇る由利本荘市の取り組みを紹介する。特徴は大きく2つ挙げられる。

1つ目は、広報手段である。企業、学校、町内会等へは、同市職員が直接足を運び参加を呼びかけ、参加・報告方法を説明したほか、チラシやグッズ、報告用紙等を配布した。また、各種会議、イベントや大型商業施設に向いてPR、広報車やケーブルテレビを活用したPR等あらゆる機会にチャレンジデーをPRした。まさに地道に足で稼いだことが結果となって表れた。



ミニチャレンジデー

2つ目は、ミニチャレンジデーの開催である。これはチャレンジデーの認知度アップと、年1回開催して終わりという一過性のものにせず、この活動を通して健康に対する意識付けと、運動習慣の浸透を図り、さらに住民同士が顔を合わせて交流を深めることを目的とし、平成26年12月から毎月（最終水曜日）継続的に実施している。実施場所は市内8地域で、種目は地域の特性や実情に応じた形で多種目にわたり、ビーチボール、ラジボール卓球、パークゴルフ、インターバル速歩等が行われている。

また、総合型地域スポーツクラブやスポーツ推進委員等が指導的な役割を果たしているほか、毎月発行される市広報に掲載して市民に周知している。

こうした地道な活動や創意工夫をこらした取り組みが安定した参加率を誇っている。

「秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」

～ 全県交流大会、地区交流会を開催中～

9月2日（土）大潟村多目的運動広場において、「平成29年度 秋田県総合型地域スポーツクラブ グラウンドゴルフ交流大会」が、全県の各クラブから56名の参加者が集い盛大に開催された。当日は暑過ぎず、時折吹く風もあり、絶好のグラウンドゴルフ日和となった。男女それぞれ1位から6位までに賞状と賞品が贈呈された他、ホールインワン賞も準備された。

また、参加賞として全員に、地元大潟村産のタマネギや特産のパンプキンパイ、横手産のリンゴジュースなどが配られ、参加者から大変喜ばれた。この後も全県交流大会や地区交流会が続きますので奮ってご参加ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



開会式



ナイスショット



休憩中



閉会式

◎今後の予定

- 10月22日（日） 県北地区交流会（北秋田市立合川体育館）
- 11月4日（土）～5日（日） 東北ブロッククラブネットワークアクション2017（山形県寒河江市）
- 11月9日（木） 県央地区交流会（CNAアリーナ★あきた（秋田市立体育館））
- 11月12日（日） 全県8人制バレーボール交流大会（大仙市立太田体育館）
- 11月19日（日） 県南地区交流会（仙北市立神代体育館）



注目のジュニアアスリート

今年7月末に福井県美浜町で開催された全日本中学選手権競漕大会（全中競漕）男子ダブルスカルで優勝した、本荘南中学校3年の細矢遙斗・山田雄恒ペアにインタビュー。二人はともに、昨年度の全中競漕男子舵手付ワイドブルの準優勝メンバーです。

細矢 遥斗 選手



○ボートとの出会い

僕がボートを始めたきっかけは、部の監督から声をかけてもらったことでした。最初は軽い気持ちで練習見学をしましたが、水面をはる爽快感や優しく接して下さる先輩方に魅力を感じ入部に至りました。

○ボートの魅力

ボートの好きなところは、レースでゴールし勝利したときの大きな達成感です。もちろんボートはとても厳しいスポーツで、勝利を手に入れるには並ならぬ努力が必要です。しかし、その努力が報われた瞬間の喜びは他のどんな競技にも勝ると思います。そして何より部員同士で、時には切磋琢磨し、時には団結して、チーム全体で高みを目指していく環境に身を置くことで、入部当時から見違えるほど成長出来ました。

○全中優勝

今年の中全（全日本中学選手権競漕大会）に向けての練習では、特にスタートでの加速に力を入れました。それが功を奏し、本番では予選から決勝までの全てのレースで相手をリードし、落ち着いた本来の漕ぎができました。昨年の中全では準優勝という結果だったので、念願の全国制覇ができて本当に嬉しかったです。



細矢（左）山田（右）ペア
[写真提供：秋田魁新報社]

○目標・抱負等

これからは、ボートを通して得た力を生かして様々なことに挑戦していきたいです。

山田 雄恒 選手



○ボートとの出会い

私がボートを始めたきっかけは、父親と姉がボートをやっていて、幼少期からボートに触れる機会が多かったからです。

○ボートの魅力

ボートが好きな理由は、スピード感が爽快だから、そして体力的に非常にハードな分、勝った時の喜びが大きいからです。

○全中優勝

昨年の中全（全日本中学選手権競漕大会）は2位、全国選抜は6位と、全く納得のいかない結果が続いていたので、今年の中全では絶対に優勝すると心に決めていました。そして自分自身にプレッシャーをかけるため、周囲の人にも「絶対に優勝する」と宣言していました。昨年の中全、全国選抜ともにスタートダッシュが未熟で負けていたので、今年はスタートダッシュを重点的に強化しました。その練習の成果がレースに出て、予選、準決勝、決勝全てでスタートから飛び出し、レースの主導権を握ることができました。苦手を克服して優勝もできたので、今後の自信につながりました。

○目標・抱負等

今シーズンは、年上とレースをする事は少なかったのですが、高校生になるとまた1年生からスタートです。年上にも勝たないと上にはいけないので、まずは進んで上級生と勝負できる力と技術を身に付け、インターハイで結果を出すことが当面の目標です。いずれは世界にいきたいと思っていますが、それはまだまだ甘い考えで、今の自分の実力では世界はおろか高校でも通用しません。だから今は自分を鍛えることに集中し、高校でも上位に入っていきたいと思っています。

日独スポーツ少年団同時交流事業(受入)報告

8月1日～5日の5日間、第44回日独スポーツ少年団同時交流事業で、ドイツから団長1名、団員7名の派遣団と、通訳1名の計9名を東成瀬村で受入れました。若手県と青森県での交流を終え、秋田県が最終県のため疲れていないか心配しましたが、案外元気な様子に安心しました。

滞在期間中は、栗駒山のトレッキングやパークゴルフ、紙漕ぎ体験や押し花、茶道体験などをしながら小中学生と交流をしました。パークゴルフは初めてのわりには上達も早く、さすがはスポーツ少年団員という感じがしました。ものを作ることが好きなようで、和紙のうちわ作りには夢中になり、それぞれが日本とドイツの国旗や桜の花などの絵柄のうちわを完成させました。また、トマトを収穫しその場でまるかじりして、村の新鮮な味にとても驚いた様子でした。

一番心配していたプログラムが「私たちにできるフェアプレイ」をテーマに高校生とのディスカッションでした。しかし、スポーツのフェ

ア、アンフェアについてのレクリエーションや、ドイツ団のパントマイムなどを通して、お互いの考えを出し合いました。国や言葉、食文化は違っても、フェアプレイについては世界共通認識であることを改めて知ることができました。なかなか言葉は通じなくても、様々なコミュニケーションをとることで、心を通わせることができると感じた瞬間でした。

また、2泊3日のホームステイでも、ホストファミリーからの温かいおもてなしに親しみを感じ、大変喜んでいました。さよならパーティーでは、言葉の壁を越え、参加者が和気藹々とドイツ団と交流し、楽しむことが出来ました。

ドイツの青年たちは多くの思い出を胸に刻んで行ってくれたものと思っています。また、東成瀬村にとっても国際交流の観点からも大変貴重な機会であり、またの機会を楽しみにしたいと思います。

(～東成瀬村教育委員会教育次長補佐 船山利佳氏)



栗駒山トレッキング



茶道体験



ディスカッション



さよならパーティー



県内スポーツの主なできごと

3月

- 13日 スキーの全日本ジュニア選手権ノルディック・クラシカルで、男子10キロの土濃塚悠成選手（秋田北鷹高2年）・女子5キロの田中星那選手（花輪高1年）が優勝
- 13日 県中学校体育連盟総会
- 20日 全国高校選抜フェンシング大会女子エペ団体で、聖霊高校が優勝
- 21日 県高等学校体育連盟評議員・理事合同会議
- 22日 県特別支援学校体育連盟評議員・理事合同会議
- 28日 臨時評議員会、人見スポーツ賞・畠沢国体賞・辻ジュニアスポーツ大賞、県スポーツ賞の表彰式を開催
- 28日 県スポーツ少年団委員総会・表彰式を開催
- 29日 全国高校選抜レスリング大会個人84キロ級で、山田修太郎（秋田商業高2年）が優勝

4月

- 1日 スキーの全日本選手権アルペン複合で、向川桜子（秋田ゼロックス）が優勝
- 18日 東北総合体育大会秋田県実行委員会設立総会
- 24日 県体協加盟団体事務局長会議を開催
- 28日 県スポーツ少年団委員総会を開催

5月

- 15日 AKITA スーパーわか杉っ子発掘プロジェクト第8期生認定証交付式。10人が新たに認定
- 31日 3年連続で、県内全市町村がチャレンジデーを実施。大仙市は「参加率アップ賞」

6月

- 2日 県高等学校総合体育大会（～6日）
- 7日 県体協定例理事会を開催
- 17日 オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金ゴルフコンペを開催
- 22日 バドミントン女子ダブルスの米元小春、田中志穂組（北都銀行）が、世界ランキング6位に
- 24日 県中学生強化選手（第12期）の指定証交付式を開催。11競技55人を新たに指定
- 24日 県競技力向上連絡協議会
- 28日 県体協定時評議員会、臨時理事会、受賞者祝賀会を開催

7月

- 5日 バドミントン全日本実業団選手権大会（～9日）が本県で開催。女子団体の北都銀行は準優勝
- 13日 FIS フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会組織委員会
- 15日 第1回全国500歳野球大会開催（～17日）1都11県21チームが参加
- 18日 鹿角市の花輪スキー場が、2021年の冬季国体スキー競技会の開催地に正式決定
- 22日 全国中学生フェンシング選手権大会（～24日）女子個人エペで、齋藤華南（秋田市ジュニアフェンサーズ・城東中3年）が優勝
- 25日 東京五輪ホストタウンの美郷町が、タイのバドミントンチームの事前合宿地に決定
- 25日 第1回全国500歳野球大会が、スポーツ振興賞「経済産業省商務情報政策局長賞」を受賞
- 26日 秋田県健康づくり県民運動推進協議会設立大会
- 28日 三浦隆司（元WBCスーパーヘビー級王者・三種町出身）が、現役引退を表明
- 28日 経口補水液「OS-1」1万本の寄付を受け、教えて！『かくれ脱水』委員会に県体協から感謝状を贈呈
- 30日 全国中学選手権競漕大会男子ダブルスカルで、本荘南中A（山田雄恒・細矢遙斗、3年）が優勝

8月

- 7日 サッカーJ2基準の施設整備等について「スタジアム整備のあり方検討委員会」が初会合
- 13日 世界陸上（ロンドン）男子50キロ競歩で、小林快（ビックカメラ・大館市出身）が銅メダル
- 18日 第44回東北総合体育大会主会期（～20日）本県を主会場として開催
- 18日 バレーボール世界ユース女子選手権（～27日）で、日本代表の野中瑠衣（秋田北高1年）が活躍
- 19日 全国高校生グレコローマン選手権大会84キロ級で、山田修太郎（秋田商高3年）が連覇
- 26日 全国高校陸上競技選抜大会女子300m障害で、関本萌香（大館鳳鳴高3年）が大会新で優勝
- 26日 中学生強化選手競技力向上研修（～27日）を開催

9月

- 4日 国民体育大会秋田県選手団結団式、役員・監督合同会議、ドーピング防止講習会を開催
県体協定例理事会を開催



チャリティゴルフコンペを開催し、オリンピック・パラリンピック候補選手に支援します

6月17日(土) 県体協主催「チャリティゴルフコンペ」を、男鹿ゴルフクラブにて開催しました。平成24年度から通算6回目となった今回は、71名の方にご参加いただき、総額142千円の寄付金を頂戴しました。

開催にあたっては、多数の企業等から、コンペの賞品として協賛品をご提供いただきました。また、会場の男鹿ゴルフクラブからは様々なご配慮をいただきました。

寄付金は、オリンピック・パラリンピック候補選手支援募金として活用させていただきます。

参加者の皆様、協賛各社はじめご支援くださった皆様に感謝申し上げます。

【協賛企業】

- 秋田いすゞ自動車(株)
- (株)秋田魁新報社
- 秋田ゼロックス(株)
- (株)秋田中央機工
- 秋田テレビ(株)
- 秋田プロバスケットボールクラブ(株)
- 新政酒造(株)
- 大塚製薬(株)
- 男鹿ゴルフクラブ
- (株)光風舎 竹半スポーツ
- (株)しもむら
- 瀬下ワールドファミリー会
- ダイードリンコ(株)
- ミズノ(株)盛岡営業所
- みちのくコカ・コーラボトリング(株) 秋田営業所
- (株)最上屋



Good Shot !

熱中症予防に経口補水液「大塚製薬OS-1」の提供があり、感謝状を贈呈しました。

5月中旬、教えて！「かくれ脱水」委員会から、スポーツ中の熱中症予防に役立ててほしいとして、経口補水液「大塚製薬 OS-1」(500ml) 1万本の寄付がありました。

高校強化拠点校や高校総体開会式をはじめ、県内スポーツ大会で活用しました。ご提供ありがとうございました。



経口補水液 OS-1

秋田ノーザンハピネッツ(株)の寄付金を活用した助成事業を行っています。

6月30日(金) 秋田プロバスケットボールクラブ株式会社(現：秋田ノーザンハピネッツ株式会社)から、本県のバスケットボール競技の振興等に役立ててほしいと100万円の寄付がありました。



県体協では、「バスケットボール競技普及等助成事業」として、県内の小・中・高等学校等の児童生徒を対象とした事業に助成します。

同社からの寄付は4年連続。チームのファンクラブ「クラブハピネッツ」の年会費の一部が充てられています。

ご寄付ありがとうございました。チームの躍進と発展を祈念しています。



オリンピック・パラリンピック候補選手 支援募金を募っています

○皆様のご支援をお願いします

2018年の平昌（ピョンチャン）冬季オリンピック、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの大舞台での活躍を夢をみて、強化練習に励んでいる本県出身のオリンピック・パラリンピック候補選手を支援するため、チャリティゴルフコンペのほか、寄付金を募っています。

○募金箱の設置先

募金箱は、次の場所に設置しています。募金箱を設置して下さる事業所等がありましたら、どうかご連絡くださるようお願いいたします。（県体協総務課：018 - 864 - 8090）

秋田県スポーツ科学センター、県立武道館、県立総合プール、県立中央公園、県立体育館、県立スケート場（冬季）、各市町村体育協会窓口、象潟B&G海洋センター、田沢湖スポーツセンター、田沢湖スキー場（冬季）

○募金実績（平成28年度）

総額 291,063 円です。今後も、どうぞよろしくお願いします。

○交付実績（平成28年度）

2014年のソチオリンピックに出場した笹原友希選手（スケルトン・国内ランキング2位）の後援会から交付申請があり、平成29年2～3月のピョンチャン合宿への参加に係る国内交通費等として、77,754円の募金を交付しました。



笹原友希選手 近況メッセージ

夢芝居 — 笹原友希 —



スケルトン競技の笹原友希です。

2014年のソチオリンピックに出場し、ピョンチャンオリンピックに向け故郷秋田を拠点に早4年、オリンピックまで半年を切りました。

この4年間は年齢的にも30歳を超え、毎年怪我に悩まされています。昨年は練習中に重度の肉離れを起こし、初めて大会を棄権しました。

僕の長所は滑走技術で、課題はソリに飛び乗るまでの助走にあります。課題をソチが終わった時点で明確化し取り組んできましたが、怪我によりタイムは足踏み状態です。

このままではまずいと、4月から東京で長期合宿を組み、法政大学の杉本龍勇先生に指導をお願いしています。岡崎慎二を駄馬から名馬に変えた男として情熱大陸で特集されていた方です。僕自身そんなにすごい先



生とは知らず、お世話になっている理学療法士の方から紹介してもらい、この人ならあと1年でなんとかしてくれる！と指導をお願いしました。なので、情熱大陸を見てたまげました（笑）

とはいえ、どんなにいい指導者に指導してもらっても、それを表現するのは自分の体です。理解するのは自分の頭、覚悟を決めるのは自分の心です。

必死に考え、杉本先生の教えを最大限に生かす。そして、メダル候補としてオリンピックに出場し、メダルを獲る。それが僕の目標です。

怪我をした分、以前より深く考えを張り巡らせるようになりました。

メダルを獲ったらどんな景色が見えるのか、今はそれを楽しみに日々精進します。





平成29年度(公財)秋田県体育協会 賛助会員

～ご協力ありがとうございます～

県体育協会の賛助会員として、事業推進にご協力をいただいております皆様の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

【法人会員】

- | | | |
|-----------------|------------------|----------------------|
| 秋田いすゞ自動車株式会社 | 株式会社エフエム秋田 | タプロス株式会社 |
| 秋田運送株式会社 | 奥羽電気設備株式会社 | 千代田興業株式会社 |
| 株式会社秋田温泉さとみ | 大塚製菓株式会社 | 辻不動産株式会社 |
| 秋田空港ターミナルビル株式会社 | 奥山ボーリング株式会社 | 東亜道路工業株式会社秋田営業所 |
| 株式会社秋田ケーブルテレビ | 医療法人回生会 秋田回生会病院 | 東北環境管理株式会社 |
| 一般社団法人秋田県建設業協会 | 株式会社鹿角パークホテル | 株式会社東北ビルカンリ・システムズ |
| 一般社団法人秋田県サッカー協会 | 医療法人久幸会 | 中田建設株式会社 |
| 一般社団法人秋田県歯科医師会 | 清三屋商事株式会社 | 株式会社N I P P O秋田統括事業所 |
| 秋田県柔道連盟 | 株式会社光風舎 | ニプロ株式会社大館工場 |
| 秋田県信用保証協会 | 株式会社光輪技研 | 日本精機株式会社 |
| 秋田県ステーションビル株式会社 | コクヨ東北販売株式会社秋田支店 | 日本電機興業株式会社 |
| 秋田県ソフトボール協会 | コマツ秋田株式会社 | ネッツトヨタ秋田株式会社 |
| 公益社団法人 秋田県バス協会 | 有限会社佐々木製作所 | 株式会社八郎瀧印刷 |
| 秋田県バドミントン協会 | 有限会社佐藤養助商店 | 船川臨港運送株式会社 |
| 秋田県武術太極拳連盟 | 株式会社サノ・ファーマシー | 文化シャッター秋田販売株式会社 |
| 一般社団法人秋田県薬剤師会 | 猿田興業株式会社 | 堀江建材株式会社 |
| 秋田魁会 | 医療法人慈心会 | 株式会社本間 |
| 秋田指月株式会社 | 白神森林組合 | 株式会社丸臣高久建設 |
| 秋田白玉工業株式会社 | 有限会社すぐる不動産 | 名鉄観光サービス株式会社秋田支店 |
| 秋田信用金庫 | 社会医療法人青嵐会 | 社会医療法人明和会 |
| 秋田テレビ株式会社 | 全国農業協同組合連合会秋田県本部 | 株式会社ユアテック秋田支社 |
| 秋田ホーチキ株式会社 | 創和技術株式会社 | 株式会社友愛ビルサービス |
| 株式会社アテック | 株式会社大同観光 | 有限会社雄駿 |
| 有限会社アリエル | 大堂電機自動車工業株式会社 | 由利工業株式会社 |
| 伊藤建設工業株式会社 | ガイドードリンコ株式会社 | 臨海碎石株式会社 |
| 羽後電設工業株式会社 | 太平山観光開発株式会社 | 株式会社ルーラル大湯 |

【個人会員】

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 秋 元 昌 貴 | 川 村 豊 太 | 西 村 悦 子 |
| 安 藤 進 | 熊 谷 金次郎 | 半 田 祐 毅 |
| 池 田 正 | 児 玉 要 | 細 谷 孝二郎 |
| 伊 勢 準 造 | 佐々木 岩 男 | 米 塚 善之助 |
| 伊 藤 彊 | 佐 藤 卯兵衛 | 若 狭 良 博 |
| 上 野 満 | 佐 藤 有 一 | 渡 部 聡 |
| 尾 形 隆 | 杉 江 宗 祐 | 渡 邊 剛 |
| 金 子 良 雄 | 中 村 六 郎 | 渡 辺 正 典 |
| 加 藤 時 子 | 奈 良 正 人 | 茂 木 秀 悦 |

※五十音順(敬称略)
9月30日受付まで



秋田県体育協会へのご寄付のお願い

本県スポーツの振興と競技力の向上を図り、さまざまな公益目的事業を展開する経費の一部に充てるため、県民及び県内外の企業、団体へご寄付をお願いしております。

公益財団法人への寄付は、教育又は科学の振興など公益の増進に著しく寄与できるものとして、所得税法、法人税法による寄付金特別控除、損金算入（法人の場合）などの特例対象となります。

スポーツ立県を支え、実現していくために、多くの皆様のご理解、ご協力をお願いします。

寄付申込みをいただいた法人・団体、個人を御紹介します。（敬称は略させていただきます。）

【法人・団体】

株式会社アイネックス	株式会社北日本ベストサポート	西村土建株式会社
NPO秋田RG愛好会	医療法人久幸会	株式会社NIPPPO秋田統括事業所
秋田活版印刷株式会社	医療法人敬徳会 藤原記念病院	日本キャタピラー合同会社秋田営業所
秋田共立株式会社	厚生ビル管理株式会社	一般社団法人日本建設機械レンタル協会
株式会社秋田銀行	株式会社光風舎	有限会社めまくら
株式会社秋田グランドリース	有限会社小西タイヤ	長谷川体育施設株式会社秋田営業所
株式会社秋田ケーブルテレビ	コマツ秋田株式会社	花岡土建株式会社
秋田県剣道連盟	株式会社サキガケ・アド・ブレーション	東日本コベルコ建機株式会社秋田営業所
秋田県厚生農業協同組合連合会	株式会社さきがけ折込センター	株式会社福井
秋田県自動車販売店協会	株式会社さきがけプラスA	株式会社藤通商
秋田県信用組合	有限会社佐藤養助商店	株式会社フジモト
株式会社秋田国際カード	有限会社三協商事	株式会社フローリスト春花
株式会社秋田魁新報印刷	株式会社サンコーホーム	有限会社ぶんねん自動車
株式会社秋田ジェーシービーカード	三和興業株式会社	ベストトラベル大曲営業所
秋田車体株式会社	医療法人社団柔心会	有限会社ベストモータース
秋田新聞輸送有限会社	株式会社スーパートゥデイ	株式会社ホクエツ秋田県北営業所
秋田信用金庫	株式会社菅与	堀江建材株式会社
秋田ゼロックス株式会社	株式会社菅与組	有限会社前田商店
株式会社秋田椿台ゴルフクラブ	医療法人正和会	有限会社丸ノ内サービス
秋田テレビ株式会社	株式会社セコー	三国商事株式会社
株式会社秋田デンカ	株式会社大雄建設	三ツ星館
株式会社秋田放送	有限会社田中土木	むつみ建設株式会社
あきた保険工房	タップロス株式会社	むつみ造園土木株式会社
秋田瀝青建設株式会社	辻兵商事株式会社	有限会社村田弘建築設計事務所
株式会社アクアス	株式会社テーエムシー	医療法人祐愛会 加藤病院
株式会社アテック	東京美装興業株式会社鹿角事業所	ユーアイ警備保障株式会社
株式会社石川組	有限会社東立	ユナイテッド計画株式会社
株式会社カガ三	DOWA ホールディングス株式会社	鹿前運輸株式会社
有限会社金子建設工業	株式会社トヨタレンタリース	有限会社若狭組
株式会社寒風	中田建設株式会社	

【個人】

小林 忠 雄

高 橋 健 一

殿 村 碩 太 郎

※五十音順（敬称略）

9月30日受付まで



県体協事務局だより

会議録(抄)

3月28日 臨時評議員会

- ・平成29年度事業計画(案)について
- ・平成29年度収支予算(案)について
- ・定款の一部改正について

4月19日 第1回役員等推薦委員会

4月24日 加盟団体事務局長会議

- ・平成29年度事業計画について
- ・加盟団体の提出書類等について
- ・スポーツ安全保険について
- ・アスリートの就職支援について
- ・平成29年度スポーツ指導者養成講習会等について
- ・チャレンジデー2017について

5月29日 第1回評議員選定委員会

6月7日 第1回定例理事会

- ・平成28年度事業報告及び決算報告(案)について
- ・利益相反取引の承認について
- ・特別寄付金の受領について

6月12日 第2回役員等推薦委員会

6月28日 定時評議員会

- ・平成28年度事業報告及び決算報告(案)について
- ・秋田県スポーツ少年団本部長及び副本部長の承認について
- ・理事・監事の選任について

6月28日 第1回臨時理事会

- ・代表理事及び業務執行理事の選任について
- ・業務執行理事の分掌について
- ・東北総体及び国体への本部役員派遣について
- ・本国体ユニフォームの更新について

7月6日 第1回強化委員会

- ・平成29年度強化計画について

- ・追加委員について
- ・激励訪問について
- ・秋田県強化拠点校制度について

7月12日 第1回総務企画委員会

- ・チャリティゴルフコンペについて
- ・広報計画について
- ・日・韓・中ジュニア交流競技会の受入について
- ・東北総体・国体への本部役員派遣について

7月28日 第1回スポーツ医・科学委員会

- ・平成29年度事業計画及び活動計画
- ・国民体育大会帯同ドクター派遣計画について
- ・アンチ・ドーピング活動の取組みについて

7月28日 オリンピックパラリンピック候補選手支援募金 支援対象者選定委員会

- ・交付金額の決定について

8月8日 第2回評議員選定委員会

9月4日 第2回定例理事会

- ・東北総合体育大会功労者表彰について
- ・業務執行理事の業務報告について
- ・第76回国体冬季大会スキー競技会の開催地決定について
- ・日・韓・中ジュニア交流競技会について
- ・感謝状の贈呈について
- ・国体秋田県選手団本部役員(案)について
- ・秋田県スポーツ少年団副本部長の承認(案)について
- ・相談役等の推挙について

9月5日 第2回強化委員会

- ・東北総体の総評
- ・国体前の激励計画について

平成29年度 関係団体創立記念行事一覧

関係団体の創立記念行事が次のとおり開催されました。誠におめでとうございます。

今後の益々の発展とご活躍を祈念いたします。

秋田プロバスケットボールクラブ株式会社 創立10周年記念式典	8月2日	秋田拠点センターアルヴェ
-----------------------------------	------	--------------

訃報

永年にわたり、本県スポーツの発展、振興に寄与されましたご功績を称え、
謹んでご冥福をお祈りいたします。

木村 了氏 本会監事 平成29年3月26日 ご逝去

編集 後記

本誌は、えひめ国体主会期前に編集し、主会期後の発行となりますので、国体における本県選手団の活躍の様子については、次号で掲載させていただきます。

本誌の発行にあたり、ご多用中の折、取材や原稿執筆などにご協力くださいました皆様、写真を提供してくださいました秋田魁新報社様、ご協力ありがとうございました。(佐藤事務局長)

本格派コーヒー・自動販売機サービス

M.M.C.[®]

三本コーヒー株式会社
秋田支店

〒010-0916 秋田県秋田市泉北3-3-35
TEL 018 (865) 5461 FAX 018 (888) 1721

駄菓子・クジ・縁日グッズ
お菓子の袋詰

しもむら



☎832-6766 駄菓子のしもむら 検索

資源を活かして地域社会に貢献

砕石・生コン製造販売業

堀江建材株式会社

代表取締役 鈴木 泚 士

秋田県大館市中道三丁目1番50号
TEL 0186-49-0280
FAX 0186-43-0002

株式会社松 田

地域の発展とともに
株式会社湯沢生コン
松田グループ 株式会社丸栄建設
株式会社出羽運輸

株式会社エィコウ物産

本 社 / 湯沢市字鶴館 39-4 TEL.0183-73-0188

事業内容

会社財務・決算・記帳代行・税務相談・経営助言・
相続・贈与・事業継承対策・医療法人経営指導税務対策

税理士法人
秋田税経プランニング

税理士 高 橋 真 一
税理士 横 山 富 夫

本 店 / 秋田市南通亀の町 4 番 9 号 Tel.018-833-4022
横山会計 / 秋田市川尻若葉町 4 番 37 号 Tel.018-862-6388

美人を育む秋田米

©zenoh



あきたこまちと比べてやや
すっきりとした味で、旨みと
コクと甘味が感じられます。
甘味はさほど強くないが、
旨みが強く、味に厚みと
コクがあります。



「あきたecoらいす」とは

使用農薬成分回数を半分以下に抑えたお米です。

JAグループ秋田・JA全農あきた



輝きを 汗に 瞳に このまちに
能代山本スポーツリゾートセンター **アリナス**

スポーツ 合宿 研修 ... に

ア リ ナ ス 宿 泊 室
ト レ ー ニングル ーム ス ト ラ ン 場
温 水 プ ール 温 泉 浴 場
研 修 室 (サウナ有)
ミーティングル ーム



〒016-0014 秋田県能代市落合字下台 2 番地 1
JR能代駅から車で10分
TEL 0185(54)9200 FAX 0185(54)2322
<http://www.noshiroyamamotokouikiken.jp/kouryuu/arinasu/list.html>



スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体活動中の事故/
往復中の事故



保険期間

平成29年4月1日午前0時から
平成30年3月31日午後12時まで

加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	事故の日からその日を 含めて180日以内			
						入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生 以下) ※特別支援学校 高等部の生徒 を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	突然死 (急性心不全 脳内出血 など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同様	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人1億500万円)	葬祭費用 180万円
大人 (高校生 以上)	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円) ⚠️自動車事故に よって賠償責任 を負った場合は、 補償の対象とな りません。	突然死 (急性心不全 脳内出血 など) 葬祭費用 180万円
	※右記年齢の判断は、「平成29年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。	B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2 A2区分は 65歳以上 の方も加入 できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。



公益財団法人 **スポーツ安全協会 秋田県支部** (公財)秋田県 体育協会内

〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内

TEL **018-883-0360** 電話受付時間 午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳細内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。
※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全協会

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(平成29年4月)〉
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 富士火災 三井住友海上

平成28年12月作成 16-T20746